

—PM 短期専門コース—

SP-A5  
仮想プロジェクトで学ぶ  
マネジメント実践力

第 3 回

開催日：2020年11月19日（木）、20日（金）

開催方法：オンラインセミナー（Zoom）

一般財団法人エンジニアリング協会

## セミナーのねらい

我々の暮らしを支えるエネルギー・発電、化学、交通、環境などの産業設備やインフラ設備の建設プロジェクトでは、日々、新技術の導入や遂行体制の工夫が進行しています。特に海外案件は各地域の特殊性や複数の利害関係者の関与もあり、これら建設プロジェクトでは包括的なプロジェクトマネジメント能力の発揮が重要となります。また、プロジェクトの規模は国家関与の巨大案件から中小規模案件まで様々ですが、一概に「大型案件は難しい、中小案件はそれほどでもない」とは言えません。要求される役務範囲は案件規模の大小に関らず同様であるため、むしろ中小案件ならではの遂行の困難さも存在します。

本セミナーは受注額の目安として約50億円、比較的中小規模の海外プロジェクト遂行に必要とされるマネジメント力の習得を目的とします。受講者は、ある仮想プロジェクトにおける責任者の立場として、プロジェクト遂行計画の策定と課題解決の検討に取り組んでいただきます。この規模のプロジェクトではプロジェクトマネジャー以下数名の主要メンバーが一人で複数の役割を担うことになり、各メンバーはプロジェクト全体を幅広く見通した上でのコントロール力や決断力が必要となります。本セミナーでは 受注から工事完了まで、プロジェクトの全体感とそれぞれのフェーズの繋がりを実践的に学んでいただきます。

実際のプロジェクト遂行では、さまざまな要因が絡み合い対応策が一つとは限らないため、本セミナーでは一つだけの最適解を引き出すことを求めません。課題に対して各自が考え、その後グループ内やグループ間での議論をすること自体が最も重要な学びであると位置づけ、実習を通して各企業から参加する受講者や講師から、さまざまな考え方や戦略を比較しつつ各自の選択肢に加えていただきます。今後、受講者が実際のプロジェクトにアサインされた際に直面する課題解決に対する戦略、すなわちアイデアの引き出しを増やすことを目指します。

## セミナーの特徴および運営

本セミナーは「インドネシアにおける受注額約 50 億円のバイオマス発電所建設プロジェクト」という仮想プロジェクトを題材とします。具体的には、日本で小規模タービンの製造、販売、輸出を生業としている企業が、海外パートナーとコンソーシアムを組成し、海外 EPC プロジェクトにチャレンジするというストーリーを設定しました。2 日間のカリキュラムを通じて様々なケーススタディを実施し、特にグループワークに主眼をおいた内容としています。

本セミナーでは下記4つの実習を実施します。

- (1) プロジェクト遂行基本計画の策定
- (2) フィールドアドミニストレーション業務の確認・検討
- (3) 実行予算の策定
- (4) プロジェクトスケジュールの確認・検討

それぞれの実習は、仮想プロジェクトの前提条件の中で与えられた課題に対して、グループで討論し結論の取りまとめ作業を行い、プロジェクトマネジャーとして、社内のマネジメント層や客先、あるいは受注パートナーへの報告、説明、説得をするという状況を設定して、グループ毎に発表していただきます。

題材となる仮想バイオマス発電所建設プロジェクトに関する資料は事前送付します。一連の資料は、営業/プロポーザル部門から「受注条件として引き継がれた社内資料」との位置付けです。本セミナーは、受講者が配布資料の概要を把握しているという前提で進めていきます。

なお、今回はオンライン会議システム（Zoom）を使つての双方向オンライン形式で行います。本セミナーの柱であるグループワークについては、Zoom のブレイクアウトルーム機能を使って行う予定です。

## 参加対象—特にこの様な方々に参加をお勧めします

- \* プロジェクトマネジャーをめざす若手・中堅社員
- \* プロジェクト関係部門の若手・中堅社員
- \* 国内プロジェクトは経験しており、今後海外プロジェクトにアサインされそうな方

## 講師陣プロフィール

### <講師>

小栗 常義（おぐり つねよし） PMフレームワーク 代表

（経 歴）

1972年、日本揮発油（現日揮）株式会社入社。

入社後、同社国際事業本部に在籍し、海外プロジェクトのプロジェクトエンジニアとしてプロジェクト遂行業務に従事。この間、カタール/インドネシア/クウェート/米国などで建設現場駐在を経験。その後、エンジニアリング本部/情報技術部長。

日揮情報システムに出向し、同社取締役を歴任。

米国プロジェクトマネジメント学会（PMI）の年次世界大会で、通算5回に亘り技術論文を発表。1988年より、米国 PMI 正会員。

中央大学理工学部非常勤講師、平成30年度エンジニアリング功労者賞を受賞。

### <テクニカルアドバイザー>

山本正彦（やまき まさひこ） 東芝エネルギーシステムズ株式会社

パワーシステム事業部 パワーシステム・プロジェクト部  
プロジェクト推進第一担当 シニアエキスパート

（経 歴）

1983年東京芝浦電気株式会社（現株式会社 東芝）入社、火力情報システム部CAE推進担当グループ長等を経て現在 火力発電プロジェクトの総合工程管理業務に従事

森 修一（もり しゅういち） 元 株式会社 三井E & Sエンジニアリング

プラント事業部エンジニアリング部  
プロジェクトグループ長

（経 歴）

1983年 三井造船株式会社（現 株式会社三井E & Sホールディングス）入社。 国内外のプラント及びインフラ プロジェクトに従事。一級建築士、PMP。

## プログラム

第1日目 11月19日(木)	
時間	項目
(9:15～) 9:30	受講者各自のPCから、ENAA 指定の URL に接続
9:30～10:00 (30分)	【開講】 ・オリエンテーション
10:00～10:30 (30分)	【実習に向けての準備】 ・仮想プロジェクトの概要説明 ・グループ内での自己紹介
10:30～12:50 (140分※) ※途中休憩 10分を含む	【実習①】プロジェクト遂行基本計画 ・プロジェクト遂行基本計画書作成の目的と意義 ・想定される問題点の抽出とその対応策(グループワーク)
12:50～13:50 (60分)	昼休み
13:50～14:50 (60分)	【実習①】プロジェクト遂行基本計画 ・グループ発表とグループ間ディスカッション
14:50～16:30 (100分※) ※途中休憩 10分を含む	【実習②】フィールドアドミニストレーション ・課題の提示、補足説明 ・海外フィールドアドミニストレーション重要業務の抽出 (グループワーク)
16:30～17:30 (60分)	【実習②】フィールドアドミニストレーション ・グループ発表とグループ間ディスカッション

第2日目 11月20日(金)	
時間	項目
(9:15～) 9:30	受講者各自のPCから、ENAA指定のURLに接続
9:30～11:50 (140分※) ※途中休憩10分を含む	【実習③】実行予算 ・課題の提示、補足説明 ・実行予算の策定(グループワーク)
11:50～12:50 (60分)	【実習③】実行予算 ・グループ発表とグループ間ディスカッション
12:50～13:50 (60分)	昼休み
13:50～16:10 (140分※) ※途中休憩10分を含む	【実習④】プロジェクトスケジュール ・課題の提示、補足説明 ・スケジュールに及ぼす影響と対応策(グループワーク)
16:10～17:10 (60分)	【実習④】プロジェクトスケジュール ・グループ発表とグループ間ディスカッション
17:10～17:30 (20分)	【まとめ】 全体総括、質疑応答

## § 使用する教材

- ◆ ENAA バイオマス発電プロジェクト (EBP-PJ) 概要書
- ◆ ビジネス関連図
- ◆ コンソーシアム組織図
- ◆ プロジェクト所掌分担表
- ◆ EBP-Master schedule
- ◆ EBP-Project Schedule、スケジュール設定条件
- ◆ General plot plan (General plot、Main area layout、Side view)
- ◆ Process flow diagram、Equipment list
- ◆ 主要BQリスト
- ◆ 概略コストブレイク表
- ◆ 各種費用積算資料
- ◆ フィールドアドミニストレーション業務一覧 他

## 開催要領

■開催日時： 2020年11月19日（木）9：30～17：30  
11月20日（金）9：30～17：30

■開催方法：オンライン会議システム（Zoom）を使用する双方向オンライン形式  
※ 今回のセミナーは Zoom を使用するオンライン形式のため、貴社の受講環境をご確認の上、お申し込みください。

■申込方法：当協会ホームページからお申し込みください。  
<https://www.ena.or.jp/seminar/44676>

■受講料：一 般 65,000円（消費税込）  
賛助会員企業 43,000円（消費税込）

□座名義：一般財団法人エンジニアリング協会  
□座番号：三菱UFJ銀行本店（普）1824021  
みずほ銀行東京営業部（普）7641424

※ 申込受付け後請求書を郵送しますので、原則セミナー開催前迄にお振込みください。

※ また、お振込みくださいました受講料は原則ご返金できません。

申し込まれた方が参加できなくなった場合は代理の方がご参加ください。

締 切 日： 2020年11月6日（金）

定 員： 24名（先着順に受付け、定員になり次第締切ります。）

### 《お問合せ》

一般財団法人エンジニアリング協会産学人材開発部 東海林、伊藤、塩田

Tel 03-5405-7201、Fax 03-5405-8201 E-mail: [seminar-spa5@ena.or.jp](mailto:seminar-spa5@ena.or.jp)